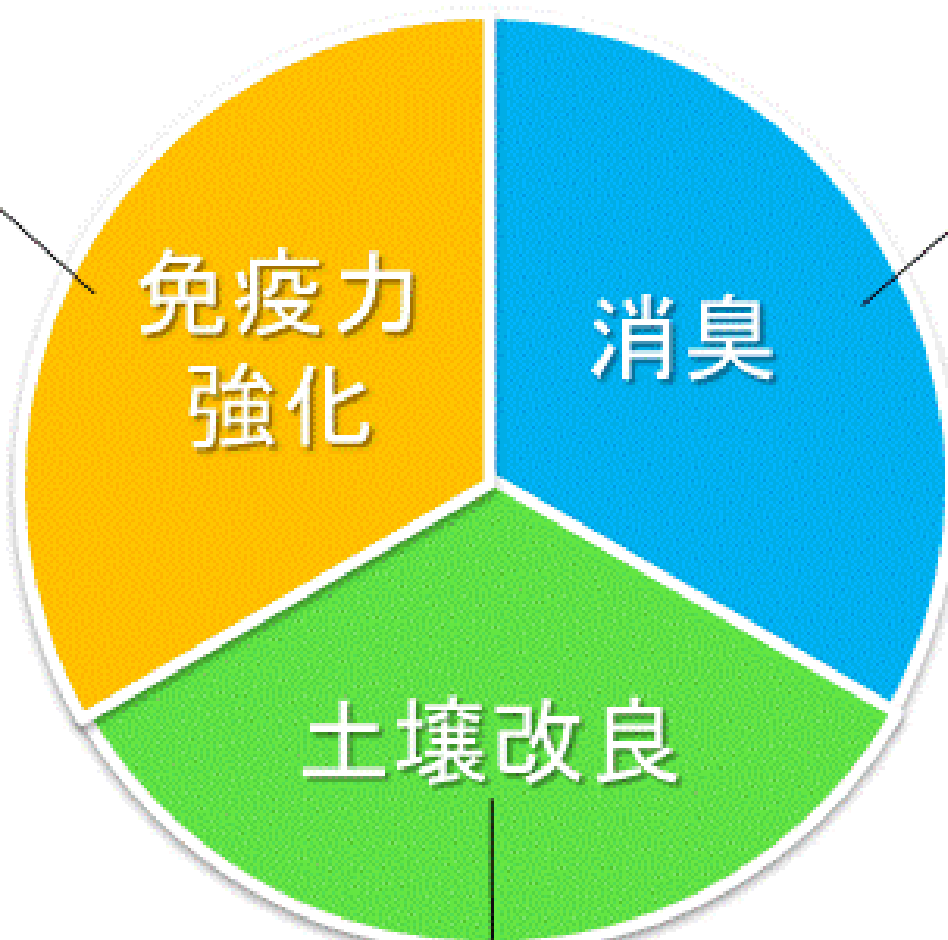


BC菌の3つの効果



土壌・葉面散布による植物の免疫力向上



希釈散布による家畜舎・堆肥舎の消臭

土壌中の残根等の分解・堆肥化

BC細菌群使用例

(1) 葉面散布	うどんこ病等の植物の病気を予防、病気の広がりを防止をします。菌液を500倍希釈で週1回を目安にして様子を見てください。病気発生後は、菌液を200倍に希釈し2日おきに様子見てください。
(2) 灌水散布	(1)と同様の効果が得られ、さらに植物の生育を促進します。菌液を、10%当たり1%を目安に散布します。有機肥料と同時に散布すると特に有効です。
(3) 溶液栽培	(1)と同様の効果が得られ、さらに植物の生育を促進します。水・液肥などと同時に散布する場合、水耕用のタンクに当初、菌液が100倍希釈になるよう菌を添加して散布ください。以降500倍希釈で週に1回くらい散布してください。
(4) 鋤きこみ	前作物・有機物等を土壌に鋤きこみ、次作物の栄養源とすることが出来ます。菌液を10%当たり1%を目安に散布します。ジョウロや動噴で圃場全体に散布しやすい量に希釈して散布、米ぬかに添加して散布するとなお有効です。
(5) ぼかし・有機肥料作成 *次ページ参照	発酵材の0.2%の容量の菌液を50倍くらいに希釈して混合し、有機肥料を作ります。この場合も米ぬかなどに添加してから混合すると、よく発酵します。水分が大切です。発酵材を握って置き、指でつつくと壊れるくらいを目安にして発酵させてください。
(6) 家畜舎・堆肥舎消臭	家畜舎・堆肥舎の消臭をします。消臭用に混合した菌液を200~500倍希釈で噴霧します。

BC菌使用方法補足資料②



★50倍希釈菌液の作り方

水の量 (ml)	加えるBC菌液原液 (ml)
50	1
100	2
200	4
300	6
400	8
500	10
1000	20

★500倍希釈菌液の作り方

水の量 (ml)	加えるBC菌液原液 (ml)
50	0.1
100	0.2
200	0.4
300	0.6
400	0.8
500	1
1000	2

★10倍希釈菌液の作り方 (田畑1アールあたり)

水の量 (ml)	加えるBC菌液原液 (ml)
50	5
100	10
200	20
300	30
400	40
500	50
1000	100

★100倍希釈菌液の作り方

水の量 (ml)	加えるBC菌液原液 (ml)
50	0.5
100	1
200	2
300	3
400	4
500	5
1000	10

★200倍希釈菌液の作り方

水の量 (ml)	加えるBC菌液原液 (ml)
50	1
100	2
200	4
300	6
400	8
500	10
1000	20

【ぼかしについて】

前ページの菌液の量は目安です。正確な菌液の量が知りたい場合、ぼかし作成の目標とする期間、また発酵材の分量を教えてくださいましたら、使用する菌液の量のアドバイスをいたします。

※もみ殻に配合する場合、同時に配合する米ぬかの量等によっても菌液の必要量が変わってきます。また、発酵材が多いほど、BC菌が少なめでも発酵が進みますので、上記の内容（ぼかし作成の目標とする期間、また発酵材の分量）をご連絡ください。